

生涯学習

研究部だより

No. 5

学習指導要領における「生涯学習」の扱いについて、押さえておこう



研究部だよりNo.1で学習指導要領等における生涯学習に関わる主な記載事項を載せました。各教科等においても記載されていますので、日々の授業づくりの根拠として確認します。

特別支援学校学習指導要領解説
総則編【高等部】特別支援学校学習指導要領解説
知的障害教科等編【高等部】

第2編 高等部学習指導要領解説

第2部 高等部学習指導要領総則等の解説

第1章 教育課程の編成及び実施

第6節 生徒の調和的な発達の支援

文末学習指導要領目次抜粋参照

第6節 生徒の調和的な発達の支援

1 生徒の調和的な発達を支える指導の充実は、

- (1) ホームルーム経営、生徒の発達の支援
- (2) 生徒の指導の充実
- (3) キャリア教育の充実
- (4) 生徒の特性等の伸長と学校やホームルームでの生活への適応、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力の育成
- (5) 生涯学習への意欲の向上 (p192)
*総則編【小・中学部】はp275
- (6) 学習の遅れがちな生徒の指導における配慮事項
- (7) 個別の教育支援計画の作成
- (8) 重複障害者の指導
- (9) 学校医等との連絡
- (10) 実験・実習への配慮 との構成になっている。



(5) 生涯学習への意欲の向上 (第1章第2節第5款の1の(5))

(5) 生徒が、学校教育を通じて身に付けた知識及び技能を活用し、もてる能力を最大限伸ばすことができるよう、**生涯学習への意欲**を高めるとともに、社会教育その他様々な学習機会に関する情報の提供に努めること。また、生涯を通じてスポーツや文化芸術活動に親しみ、豊かな生活を営むことができるよう、地域のスポーツ団体、文化芸術団体及び障害者福祉団体等と連携し、多様なスポーツや文化芸術活動を体験することができるよう配慮すること。

上記の記載から分かるように

- ・意欲の向上
- ・学習機会の情報提供
- ・関係機関との連携
- ・体験的な活動の創出が求められている。

国語科 2段階目標 学びに向かう力等について

読書の楽しさや自分にとっての有効性を実感しながら、日常生活の中で主体的に読書をする態度を示している。このような態度を育成することは、卒業後の生涯学習への意欲を高めることにもつながるものである。(Up57)

社会科 内容 公共施設の役割と制度

実際に公共施設を見学したり、資料を通したりして、公共施設の役割や機能を知り、現在や将来の自分の生活における適切な利用の仕方について考えることが重要である。(Up79)

音楽科 内容の取扱いについての配慮事項 ウ

学校外における音楽活動には、生徒が自分たちの演奏を披露するだけでなく、音楽家や地域の人々によるコンサートなどの様々な音楽活動が含まれる。(Up243)

美術科 指導計画の作成と内容の取扱い オ

学校や地域の実態に応じて、実物の美術作品を直接鑑賞する機会が得られるようにしたり、作家や学芸員と連携したりして、可能な限り多様な鑑賞体験の場を設定するようにする。(Up49)

保健体育科 目標の解説

見方・考え方を働かせることができるようになる学習過程を工夫することにより、「生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力」の育成につなげようとするものである。(Up58)

職業科 内容 A職業生活の解説

休日の計画的な過ごし方を考え、福祉サービスや参加できる生涯学習の活動、地域の施設の活用などを組み合わせて利用するなど、自分の生活やニーズに沿って調整することや、職場のレクリエーションやサークル活動への参加、福利厚生施設の利用を計画することなども考えられる。(Up122)

第1章 教育課程の編成及び実施

第4節 教育課程の実施と学習評価*

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 (6) 学校図書館、地域の公共施設の利活用の解説

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるに当たっては、学校図書館の活用に加えて、資料調査や本物の芸術に触れる鑑賞の活動等を充実させるため、地域の図書館、博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設を積極的に活用することも重要である。

家庭科 目標(3)の解説

「よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度」とは、家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境に関する家族・家庭における様々な問題を、家族の一員として、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承等の視点で捉え、一連の学習過程を通して身に付けた力を、生活をよりよくするために生かし、実践しようとする態度について示したものである。このような実践的な態度は、家庭科で身に付けた力を家庭、地域から最終的に社会の中で生かし、社会を生き抜く力としていくために必要である。(下p134)

外国語科 指導計画作成上の配慮事項 ウの解説

卒業後の生活を見通して、さまざまな言語の使用場面において対話的な活動を十分にを行い、生涯学習への意欲を高めるようにすることが大切である。(下p193)

情報科 内容 A職業生活の解説

卒業後の生活を見通して、様々な情報や情報機器を適切かつ効果的に活用する機会を十分に設け、生涯学習への意欲を高めるようにすることが大切である。(下p223)

第1章 教育課程の編成及び実施

第7節 学校運営上の留意事項*

1 教育課程の改善と学校評価等、教育課程外の活動との連携等

(3) 教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連の解説

運動部の活動において保健体育科の指導との関連を図り、競技を「すること」のみならず、「みる、支える、知る」といった視点からスポーツに関する科学的知見やスポーツとの多様な関わり方及びスポーツがもつ様々なよさを実感しながら、自己の適性等に応じて、生涯にわたるスポーツとの豊かな関わり方を学ぶなど、教育課程外で行われる部活動と教育課程内の活動との関連を図る中で、その教育効果が発揮されることが重要である。

教育課程の編成、実施、学習評価、学校運営、そして、各教科等の授業において生涯にわたって学びに向かう「意欲」や「態度」を育むことの大切さが記載されています。

今回記載した内容は「高等部」の学習指導要領解説ですが、当然のように、小学部・中学部の学習指導要領ともつながる内容です。今一度、日々の学習が生涯学習に結び付く要素を含んでいることを意識しながら日々の授業づくりを丁寧に行っていきましょう。

学びに向かう「意欲」「態度」



● 第2編 高等部学習指導要領解説

● 第1部 教育課程の基準と編成

● 第1章 教育課程の基準..... 24

第1節 教育課程の意義..... 24

第2節 教育課程に関する法制..... 26

● 第2部 高等部学習指導要領総則等の解説

● 第1章 教育課程の編成及び実施..... 30

第1節 教育目標..... 30

第2節 高等部における教育の基本と教育課程の役割..... 33

第3節 教育課程の編成..... 74

第4節 教育課程の実施と学習評価..... 157

第5節 単位の修得及び卒業の認定..... 179

第6節 生徒の調和的な発達への支援..... 192

第7節 学校運営上の留意事項..... 211

第8節 道徳教育推進上の配慮事項..... 224

特別支援学校学習指導要領活用の手引

～一人一人の教育の充実と学校の活性化を目指して～

令和2年11月
福岡県教育委員会